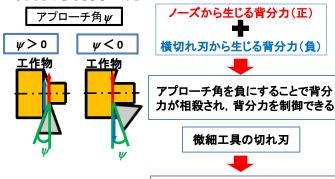
微細フライス加工用工具の オンマシン加工法の提案

▶はじめに

マイクロ流路チップ等の作製には<mark>特殊な加工法</mark>を用いた 微細加工を施すため高コストである。微細工具によるフ ライス加工を行うことで<mark>加工コスト削減</mark>につながるが,エ 具を付け替える際の振れ回りにより、加工精度が悪化す

本研究では、微細工具を作製後にフライス加工を同軸 上で行える加工機を試作し,その加工性能評価を目的と する.

◆背分力制御の方法



: ノーズから生じる背分力

: 横切れ刃から生じる背分力

本研究では簡易的手段として軸に端 面を設け、切れ刃として用いる。

実験装置・被削材





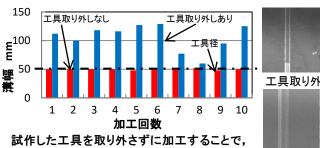
(SKH51)



アクリル板

◆振れの有無による加工精度の比較

被削材	アクリル板	回転数 min ⁻¹	3000
工具径 µm	50	切込量 μm	10
切削方式	湿式	送り速度 mm/min	3



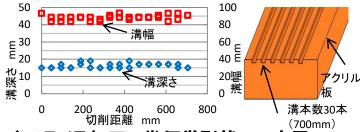
工具の振れを無くし高精度の加工を実現できる ことを確認した.

工具取り外しなし

工具取り外しあり

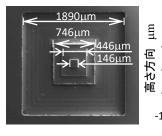
▶微細T旦の摩耗の検証

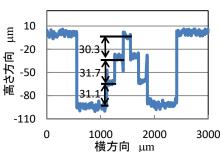
<u> </u>	14H > C -> (3- 1 0 -> 1>C PA					
被削材	アクリル板	回転数	min ⁻¹	3000		
工具径 µm	96	切込量	μm	10		
切削方式	湿式	送り速度	mm/min	6		



▶フライス加工の幾何学形状への応用

被削材	アクリル板	回転数 min ⁻¹	3000
工具径 µm	100	切込量 µm	10
切削方式	湿式	送り速度 mm/min	6





◆まとめ

- ・作製した工具を取り外さずフライス加工を行うことで、振れをなくし高精度の加工が行えた.
- ・作製した工具1本を用いて切削距離700mm加工しても高い精度を維持できた.
- ・溝加工だけでなく、幾何学形状のフライス加工のおいても高精度な加工を行うことができた。